

設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	認可又は届出
計画の区分	学部の設置
フリガナ	カッセイホウシン ハマナヤマテガクイン 学校法人 濱名山手学院
フリガナ 大学の名称	カンサイコクサダイク 関西国際大学 (Kansai University of International Studies)
新設学部等における教育研究上の目的、養成する人材像	<p>グローバル学部グローバル学科 ア どのような人材を育成するのか グローバル社会や地域社会が直面する諸問題に関して、社会学、経営学などの科学的視点から課題発見・解決する能力、語学力を含む高度なコミュニケーション能力、“Diversity, Equity and Inclusion”(DE&I:多様性、公平性、包括性)の視点をもって、グローバル社会に貢献する人材を育成する。</p> <p>イ 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 学生に習得させる能力としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立的で主体的な態度(自律性):自ら主体的に計画を立てて実行し、ふりかえりを行いながら取り組むことができる。 ・社会に能動的に貢献する姿勢(社会的貢献性):世界人類や地域社会の人々のために貢献し、より多くの人が他者と協働し参加するような貢献ができる。 ・Diversity, Equity & Inclusion(DE&I)の視点:異なる文化と価値観を受け入れ、尊重する能力(多様性理解)を持ち、多様な地域・文化背景、人種、宗教を持つ人々と共生並びに協働することができる。 ・課題発見・解決力:グローバル社会や地域社会における社会的・文化的な問題について、科学的な視点から課題発見し、根拠にもとづいた解決のための提案ができる。 ・コミュニケーション力:コミュニケーションについての基本的な理解をした上で、日本語・英語双方の言語で必要なコミュニケーションをとることができ、他者との対話・交渉の際に、根拠にもとづいた論理的な主張を行うことができる。 ・専門的知識・技能の活用力:多様な存在が共生できる社会を築くために必要な専門的知識・技能を修得し、実際に想定した場面で活用するであり、それを可能とする教育及び学術研究を行うことを目的とする。 <p>ウ 卒業後の進路 外資系企業、商社、起業家、国際ビジネスコンサルタント、国際NGO、事業企画コンサルタント、自治体、まちづくり組織、日本語教師、日本語教育機関、多文化共生NPO、社会起業家、旅行代理店、インバウンド観光コンサルタント、航空、ホテル、観光・文化施設、地域観光協会</p>
既設学部等における教育研究上の目的、養成する人材像	<p>国際コミュニケーション学部 ア どのような人材を養成するのか グローバルな視野に立った教養を持ち、外国語の運用能力およびコミュニケーション能力を身に付けた国際社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>イ 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 国際コミュニケーションの主要言語である英語の基本的な運用能力を身につけ、国際地域の文化や社会に関する理解を深め、国際社会でのコミュニケーション能力を身につけていく。それらの能力を現場での体験学習を通して活用していくことにより、課題発見・解決力を修得する。</p> <p>グローバルコミュニケーション学科 ア どのような人材を養成するのか 英語の基本的な運用能力やコミュニケーション能力を身に付け、主にアジアを中心とした国際社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>イ 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 グローバルな視野に立った教養を身につけるとともに、専門知識や技術を修得する。特に、ビジネス社会や教育分野も含めた文化交流において英語を使ったコミュニケーションができる能力を身につける。国際的なコミュニケーションツールとして定着している英語の運用力を基礎としながら全員を半年(1学期間)以上留学に行かせることで、課題発見・解決力を身につける。</p> <p>ウ 卒業後の進路 商社をはじめ、主にアジアを中心に国際展開する企業、および、国内でのインバウンド観光客を対象とする企業での就職が期待できる。また、英語の指導者(英語教諭)や外国人に対する日本語の指導者への進路も考えられる。</p> <p>観光学科 ア どのような人材を養成するのか 外国語の運用能力およびコミュニケーション能力と観光産業に必要な知識と実践的スキルを身につけ、多様化する観光ニーズを科学的に分析・調査し、観光事業における新たなサービスを企画できる人材を育成する。</p> <p>イ 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 学生に習得させる能力としては、「実用的な語学力」、「他者と協働するコミュニケーションスキル」、「多様性理解」、「観光サービスの課題発見・対応力」、「マーケティング手法に基づく知識と手法の修得と活用力」であり、それを可能とする教育及び学術研究を行うことを目的とする。</p> <p>ウ 卒業後の進路 ホテル、旅行代理店、航空・鉄道・運輸関連、旅行関連ec事業、テーマパーク、広告、メディア、イベント、リテイル、不動産開発などの観光関係企業の現場マネジメント部門、新たな観光ビジネスの起業、DMO、地方自治体、NPO、観光協会等の観光関係公的セクター</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>グローバル学部グローバル学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学・高等学校教諭一種免許状(英語) ア 国家資格 イ 資格取得可能 ウ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 ・ 登録日本語教員 ア 国家資格 イ 修了証発行 ウ 卒業要件ではない ・ 防災士 ア 民間資格 イ 関連科目開講 ウ 卒業要件ではない

既設学部等において取得可能な資格		国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科 ・ 中学・高等学校教諭1種免許状(英語) ア 国家資格 イ 資格取得可能 ウ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 ・ 文化庁日本語教師養成講座 ア 国家資格 イ 修了証発行 ウ 卒業要件ではない 国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科、観光学科 ・ 防災士 ア 民間資格、イ 関連科目開講、ウ 卒業要件ではない										
新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	基幹教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
	グローバル学部 [School of Global]		グローバル学科 [Department of Global]	4	125	3年次 20	540	学士 (国際学) 【Bachelor of Arts】	文学関係 社会学・社会福祉学	令和7年 4月	国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科	5
										国際コミュニケーション学部観光学科	4	3
										経営学部経営学科	1	1
										社会学部社会学	1	0
										現代社会学部総合社会学	1	0
										新規採用	2	2
										計	14	11
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	基幹教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
	国際コミュニケーション学部 (廃止)		グローバルコミュニケーション学科 (廃止)	4	75	-	300	学士 (英語学)	文学関係	令和元年 4月	グローバル学部グローバル学科	5
										教育学部教育福祉学科	1	1
										経営学部経営学科	2	1
										退職	3	3
										計	11	10
										グローバル学部グローバル学科	4	3
										経営学部経営学科	2	1
										退職	7	3
										計	13	7
経営学部		経営学科	4	175	3年次 20	740	学士 (経営学)	経済学関係	令和3年 4月	グローバル学部グローバル学科	1	1
										経営学部経営学科	20	10
										退職	3	3
										計	24	14
社会学部		社会学	4	100	-	400	学士 (学術)	社会学・社会福祉学関係 工学関係	令和3年 4月	社会学部社会学	14	7
										グローバル学部グローバル学科	1	0
										計	15	7
現代社会学部 (廃止)		総合社会学 (廃止)	4	-	-	-	学士 (学術)	社会学・社会福祉学関係、経済学関係、文学関係、工学関係	平成25年 4月	グローバル学部グローバル学科	1	0
										退職	2	2
										計	3	2

【備考欄】
 国際コミュニケーション学部(廃止)
 グローバルコミュニケーション学科(廃止) △75 ※令和7年4月学生募集停止
 観光学科(廃止) △80 ※令和7年4月学生募集停止

 令和6年5月 収容定員の変更に係る学則変更届出申請予定
 社会学部社会学 [定員減] (△50)
 経営学部経営学科[定員増] (25)
 教育学部教育福祉学科[定員減] (△60)

<作成例:大学院の場合>

設置計画の概要

事項		記入欄									
事前相談事項		認可又は届出									
計画の区分		研究科の設置									
フリガナ設置者		ガッコウホウシツ トランモンカクエン 学校法人 虎ノ門学園									
フリガナ大学の名称		トランモンダイガク ダイガクイン 虎ノ門大学大学院 (Graduate school of Toranomon)									
新設学部等における教育研究上の目的、養成する人材像		教育学研究科 ア..... イ..... 教育学専攻(M) ア..... イ..... ウ.....									
既設学部等における教育研究上の目的、養成する人材像		※ 上記「新設学部等」の欄と同様に記載してください。									
新設学部等において取得可能な資格		【教育学研究科 教育学専攻】 ・中学・高校教員専修 (国語, 社会) ア 国家資格, イ 資格取得可能 ウ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要									
既設学部等において取得可能な資格		※ 上記「新設学部等」の欄と同様に記載してください。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
						学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
	教育学研究科 [Graduate school of %%%] 教育学専攻(M) [Studies in \$\$\$]	2	10	-	20	修士 (教育学) 【Master of ###】	教育学・保育学 関係	平成32年 4月	児童学研究科児童学専攻(M)	5	3
									教育学部教育学科	4	2
									新規採用	1	1
									計	10	6
既設学部等の概要	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
						学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
	児童学研究科 (廃止) 児童学専攻(M)	2	10	-	20	修士 (児童学)	教育学・保育学 関係	平成16年 4月	教育学研究科教育学専攻(M)	5	3
									その他	1	1
									退職	1	1
									計	7	5
【備考欄】											
該当なし。											

英文名称を記載してください。

既設学部等と異なる種類の学位を授与する新設学部等(「〇〇学部」→「△△研究科」等)へ専任教員が移行する場合には、当該既設学部等の名称をこの欄に記入する必要はありません。

<作成例:学部等連係課程実施基本組織等の場合>

設置計画の概要

事項	記入欄										
事前相談事項	認可又は届出										
計画の区分	学部等連係課程実施基本組織の設置(学部の設置)										
フリガナ	ガッコウカウシン トランモンガクエン										
設置者	学校法人 虎ノ門学園										
フリガナ	トランモンガク										
大学の名称	虎ノ門大学 (University of Toranomon)										
新設学部等における教育研究上の目的、養成する人材像	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ア..... イ..... ウ..... 学部等連係課程実施基本組織の連係協力学部等 ××学部、△△学部										
既設学部等における教育研究上の目的、養成する人材像	××学部 ア..... イ..... ××学科 ア..... イ..... ウ..... △△学部 ア..... イ..... △△学科 ア..... イ..... ウ.....										
新設学部等において取得可能な資格	【 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 】 ・中学・高校教員1種(国語, 社会) ア 国家資格, イ 資格取得可能 ウ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要 ・図書館司書 ア 国家資格, イ 資格取得可能 ウ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。										
既設学部等において取得可能な資格	※ 上記「新設学部等」の欄と同様に記載してください。(【 】には既設学部・学科等の名称を記載)										
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	基幹教員		
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【英語名称を記入】	4	〇〇	-	〇〇	学位又は称号 学士 ●● 【英語名称を記入】	学位又は学科の分野 ■■関係	令和4年4月	異動元	助教以上	うち教授
既設学部等の概要	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	基幹教員		
	××学部 △△学部	4	〇〇	-	〇〇	学位又は称号 学士(.....) 学士(.....)	学位又は学科の分野 ××関係 ■■関係	昭和〇年4月 平成〇年4月	異動先	助教以上	うち教授
学部等連係課程の名称を上段に記入し、下段の[]には英文名称を記載してください。 基幹教員数は、新設学部等の完成年度における人数を記載してください。「既設学部等の概要」の人数に対応している必要があります。 既設学部等と学部等連係課程基本組織で専任教員を兼ねる場合は、組織名の後に「(兼務)」と記入してください。 新設学部等に記載した組織の設置届出時における既設学部等の状況を記載してください。 新設学部等に記載した組織の完成年度における所属先の学部等名・人数を記載してください。											
【備考欄】											
令和〇年6月 収容定員の変更に係る学則変更認可申請予定 ××学部(令和〇年6月届出予定) ××学科[定員増](20) ▲▲学部 ▲▲学科[定員減](△10) ◆◆学部 ◆◆学科(廃止)(△60)											
「基本計画書(様式第2号(その1の1), 様式第2号(その1の2), 様式第2号(その1の3), 様式第2号(その1の4), 様式第2号(その1の5))」の「同一設置者内における変更状況」の記入方法に従って記入してください。											